

令和2年度上半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市体育ルーム	所管課	ぎふ魅力づくり推進部 市民スポーツ課
所在地	岐阜市橋本町1-10-23 ハートフルスクエアG1階		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	21,045,970円		
施設の設置目的	スポーツを振興し、市民の心身の健全な発達を図るため		
施設概要	開設年月 平成14年1月 多目的体育室、柔道場、剣道場、クライミングウォール		

●利用状況

		R2 上半期	R1 下半期	R1 上半期	H30 下半期	H30 上半期
利用者数(単位:人)		7,403	22,982	25,062	25,728	26,383
各室稼働状況(%)	多目的体育室	53.6	84.4	90.5	93.3	93.3
	剣道場・空手道場	32.7	77.6	84.5	89.4	90.4
	柔道場	21.8	58.1	67.8	69.2	70.8

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④利用者からの意見を聞くためアンケートボックスの設置 ⑤苦情への対応	①遵守、適切な運用に努めている。 ②利用者サービスの提供に支障のない適切な人員配置となっている。業務を適切に遂行できるよう、適宜研修を実施している。 ③ホームページや広報誌等の媒体を活用した広報活動を実施している。 ④アンケートボックスを設置し、利用者からの意見聴取に取り組んでいる。 ⑤苦情や要望に対し、適切に対応している。なお、各館長が共通認識を持てるよう毎月「館長会」を行い、各館統一見解により業務にあたっている。
指定事業・自主事業	【指定事業の実施】 ①体育館スポーツ教室 ②市民プール開設事業 ③クライミングウォール個人使用に対応する指導者の配置	【指定事業】 ①令和2年度第1回体育館スポーツ教室(4月～7月)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ②定数や時間等、利用制限を設けて開設。 ③指導者の配置が適切に実施された。 8/8から毎週水、木の実施。(19時～21時) 延べ15日30人 ※4/1～8/7まで新型コロナウイルス感染症防止のため利用中止
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③消防用設備 ④クライミングウォール維持管理 ⑤文化的活動	①②③ ハートフルスクエアG全体での管理のほか、ルーム独自で清掃活動等が適切に実施された。 ④クライミングウォールの業者による定期点検が適切に実施された(壁面・ホールド・ハーネス・ロープ等)指導員と連携して、職員が下記の対応を迅速に実施している。 ・ハーネス等安全器具の点検(劣化が進んでおり更新予定) ・劣化したロープの交換(年1回) ・クライミングウォール用サーチライトの清掃 ⑤ハートフルスクエアGの一部施設であることから、ハートフルスクエアGと調整しながら適切に実施された。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	上級体育施設管理士のノウハウ及び職員による施設内外の目視巡回点検等から修繕箇所を把握し、適切な修繕を行った。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①条例等を遵守し、適切に対応している。 ②非常時に迅速に対応できるよう努められている。 ③各種研修を実施し、関係法令を遵守した運営を行っている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	①「利用者カード」(団体利用) ・すべての施設利用団体にアンケートを依頼。 ・質問項目:「楽しく活動できたか」「職員の接遇」「設備環境」 ②「利用満足度UPアンケート」(アンケート週間) ・質問項目:「施設の使いやすさ」「付帯設備の使い状況」「施設的美観」「職員対応」 ③「利用者アンケート」(常設アンケート) ・いつでもどなたでもご意見がいただけるように事務所前に設置。 ・質問項目:「ご意見」「利用頻度」「性別」「年齢層区分」 ④自主事業「利用者アンケート」 ※自主事業中止により未実施
利用者アンケートの実施結果	①「利用者カード」(団体利用) 【回収枚数】 736枚 【利用頻度】 「初めて利用」13団体、「複数回利用」723団体 「楽しく活動できましたか」 95.1% 「職員の接遇はいかがでしたか」 93.9% 「施設環境はいかがでしたか」 80.5% ②アンケート週間「利用満足度UPアンケート」 【回収枚数】 131枚 【利用頻度】 「初めて利用」7人、「2回目以降」124人 「満足度」 93.1% 「施設の利用しやすさ」 81.6% 「付帯設備や備品に不備はなかったか」 88.5% 「施設的美観は保たれているか」 88.5% 「職員は丁寧に対応したか」 89.3% ③「利用者アンケート」(常設アンケート) 【回収枚数】 3枚 【利用頻度】 「初めて利用」1人、「複数回利用」2人
利用者からの要望・苦情と対処・改善	(主なご意見) ・職員の方が、親切で丁寧な対応をしてくれて、気持ちが良いです。 ・施設がきれいで空調があり気持ちよくスポーツが出来る。 ・お花が綺麗に飾ってあって、気分がいい。 ・交通の便もよく今後も利用したい。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

【体育ルーム】

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	(1) 平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	平等利用を確保するための体制が整えられているか。またそのためのモニタリングが実施されているか。	A	A	A
		(2) 情報公開、広報の方策	幅広く市民に適切な情報公開がなされているか。	A	A	A
		(3) 個人情報を保護するための方策	個人情報の保護についての管理対策が適切に実施されているか。	A	A	A
		(4) その他指定管理者の提案によるもの	必要に応じて、公平性、透明性を配慮した独自の取り組みを計画・実施しているか。	A	A	A
		区分評価				

効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	(1) 既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	業務内容を常に見直し、事業改善に取り組んでいるか。	A	A	A
		(2) 利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方針など	利用者ニーズ等を把握するための方策を実施しているか。また苦情等の再発防止策を講じているか。	A	A	A
		(3) 利用者に対するサービス向上の方策	設備整備など、利用者の利便性・満足度向上に向けた方策が提案・実施されているか。	A	A	A
		(4) 利用促進、利用者増の方策	魅力ある教室・講座等の実施に向け、積極的な広報活動により、利用者の拡大を図っているか。	A	A	A
		(5) サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	寄せられた意見に対して、適切に対応し、運営に反映しているか。	A	A	A
		(6) 施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	管理運営組織を整え、適正な人員配置が行われているか。	A	A	A
		(7) その他指定管理者の提案によるもの	必要に応じて、施設の効用(設置目的)を最大限発揮する取り組みの提案・実施ができているか。	A	A	A
	区分評価					
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	(1) 指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者の安全と快適性を確保した上で経費削減の実施がなされているか。	A	A	A
		(2) 収支計画の妥当性	適正な収支配分計画となっているか。	A	A	A
		(3) 管理経費縮減の具体的方策	具体的な経費削減の方策を掲げ、管理経費の削減が図られているか。	A	A	A
		(4) スタッフ配置の妥当性	過不足なく適正な人数を配置し、無理のないスタッフ体制となっているか。	A	A	A
		(5) その他指定管理者の提案によるもの	設置目的に沿った、健全で安定した中でのコスト削減が図られているか。	A	A	A
	区分評価					
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1) 経営基盤の安定性	安定した財務状況のもと、指定管理業務に取り組んでいるか。	A	A	A
		(2) 組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	施設の運営に必要なノウハウを有した人材を確保しているか。	A	A	A
		(3) スタッフの管理、監督体制	スタッフの管理は適切に行われているか。また、管理・監督が適正に行える体制が整備されているか。	A	A	A
		(4) スタッフの人材育成の方策	安定した施設運営を図るため、各種規定に基づき人材育成が図られているか。	A	A	A
		(5) リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	事故、災害等緊急時の対策、対応は適切に図られているか。また、防犯に対する対策は適切か。	A	A	A
		(6) リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	リスクへの対応能力を確保しているか。	A	A	A
		(7) その他指定管理者の提案によるもの	必要に応じた連携体制の構築がされているか。	A	S	S
	区分評価					
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1) 地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地域と連携、協働し、施設の管理運営にあたっているか。	A	A	A
		(2) 地元の住民、高齢者、障害者等の雇用	地元住民の雇用促進に資する対応が図られているか。	A	A	A
		(3) 地元での資材等の調達	地域発展のため地元業者からの調達を推進しているか。	A	A	A
		(4) 地元での社会活動等への参加	地元の社会活動への協力と参加が図られているか。	S	A	A
		(5) その他指定管理者の提案によるもの	必要に応じて、地元の振興・活性化等、貢献が図られているか。	A	A	A
	区分評価					

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>(効果性) ○柔道場の稼働率アップに向け、来館者などに広報しレポートしていただくよう努めた。また、友人知人にも広報していただくよう依頼し、特にダンス・ヨガなどの利用促進に努めた。</p> <p>(貢献性) ○岐阜県版アダルトプログラムに参加し施設周辺の清掃・美化に貢献した。 ○「令和2年7月豪雨災害」の被災者に対し、事業団が管理する施設の窓口で義援金活動をおこなった。集まった市民からの義援金は日本赤十字社へ寄付し、被災者の復興に寄与した。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設利用が停止されていた期間があったが、再開時には岐阜駅に隣接したハートフルスクエアGへの来館者に向け、情報案内板や掲示物により利用の啓発に努めた。 ○受講者が減少している健康体操等スポーツ教室の内容見直しや新規講座の開設に向けて検討を進めた。 ○利用者の要望が多かったクライミングロープの購入や卓球・バドミントン・クライミング用ハーネスなどの更新計画を作成した。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>○稼働率が低迷している柔道場でバランスボール・ヨガ・親子体操等の教室や講座を企画立案するとともに、利用者への広報を積極的に実施し稼働率上昇を目指す。また、利便性が高いハートフルスクエアG内にある特色を活かし、他施設との共催事業やイベント実施により、さらなる利用者確保に努めていく。</p> <p>○施設の利用停止時には、適正な人材配置で人件費の削減に努めた。その一方でスポーツ教室の中止に伴い、講師謝金が未執行となったため、所管課と協議しながら施設の安全管理のための修繕やサービス向上のための備品購入など、利用者へのサービス向上に向けた執行をする予定である。</p> <p>○岐阜県山岳連盟と連携を図りながら、ロープ・ハーネスなどの保守点検を実施する。また、クライミング指導者レベルアップ講座などの新規講座を年1回以上開催できるよう検討をすすめる。</p>

●所管課の意見

<p>施設の管理運営は概ね適切に行われている。 安心・安全な施設運営を継続するとともに、岐阜駅に隣接する好立地であることを最大限に生かし、更なる利用促進を図られたい。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>熱中症対策に関する保険への加入等、利用者の安全対策に取り組んでおり、施設の管理運営は概ね適切であると評価できる。 今後も引き続き、立地特性を生かしながら、コロナ禍に対応した取組みにより、更なる利用促進に努められたい。</p>
